

平成 27 年度 第5回知的障害者の住まい検討部会

平成 27 年 10 月 21 日 (水)

17 時 30 分 ~ 19 時 30 分

KRCビル 大会議室

《次 第》

1 議題

- (1) 地域移行及び地域生活支援に向けた施策展開の方向性について
- (2) その他

第 6 回 (次回)

日時：平成 27 年 12 月 22 日 (火) 15 時~17 時

場所：関内中央ビル 5 階 特別会議室
(KRCビルではありませんので、ご注意ください)



第5回 知的障害者の住まい検討部会 資料

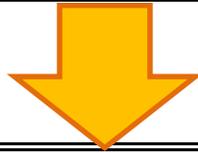
これまでの検討部会で出されたキーワード

●オール横浜市として生活を立て直す仕組み

家庭基盤がぜい弱(本人を支えきれない)
短期入所で転々としているため、症状(生活)が安定しない
生活を立て直す仕組みが必要
医療とのかかわりが必要
それぞれの事業者の取組の質の高さが、客観的に見える形にしていくことが必要

●コンサルテーション、スーパーバイズ

ノウハウがなく、職員が苦しみながら支援している
バックアップ機能も乏しい
地域の施設(GH等)へ視点が向きにくい
施設によって支援の差が出ている



「支援の共通の言語化」を図る研修だけではなく、本市全体としてどのような施策展開が必要になるのか。

イメージ



“身近な地域で暮らす”ための地域移行の実現に向けて

スーパーバイズの仕組み??

コンサルテーションの仕組み??

一定期間の生活を立て直すモデル??

支援の質の見える化(支援基準の設定)??